

事業者向け

児童発達支援自己評価表

公表：2025年 3月10日

事業所名：児童発達支援センター コアラ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> • 当日の利用児数や状況によって、活動ルームや廊下等も使用して、安全で楽しく活動出来る環境をつくっています。 	
	2	職員の配置数は適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> • 地域支援業務等で現場職員減の場合は、活動内容や活動スペースを検討し、安全に活動出来る様、配慮しています。 	
	3	生活空間は、本人に分かり易い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7			

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえて、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合せて児童発達支援計画を作成しているか	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7			
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	・AIセラピストCO-mii（文書作成ソフト）の研修システムを利用して、研修の場を提供出来る様に検討していきたい。	・有効な専門知識を習得できる講習会等をネット等で調べ、積極的に参加する事で、職員のスキル向上に努めていきます。
	26	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	4	・基幹相談支援センターの会報等に目を通す機会を増やしていき、情報収集し、対応していく。	・うきは市地域障害者協議会に参加しています。出来るだけ会議や会合に出席出来る様に努力します。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			

	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	7			
保護者への説明責任等	29	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画書の同意を得ているか	7			
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	34	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	7			

	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	・法人行事の開催に合わせる。感染対策上、現状では難しいと感じる。	・感染症対策の問題がなければ、法人全体で開催する運動会（久留米市東部運動公園にて）や、夏祭り行事（ゆうかり学園敷地内にて）にて地域住民の方々との交流を図っています。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7			
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2025年 3月10日

＜児童発達支援＞

事業所名：児童発達支援センター コアラ園

保護者等数（児童数） 88名

回収数 44名

割合 50%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	44				<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多いと圧倒される事はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での活動を心掛けています。利用児が多い場合は、活動部屋数を増やしたり、廊下等も使用して安全に楽しく活動出来る環境をつくっています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	44					
	3	生活空間は、本人に分かり易い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	44					
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	44				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも清掃していただいて、とても綺麗です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動室内の清掃、アルコール消毒を定時に毎日行っています。また、清掃業者の方にて、廊下、トイレ等の清掃も毎日行っています。

適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	44					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	43	1				<ul style="list-style-type: none"> ・コアラ園利用契約時に児童発達支援の提供すべき支援についてお話しし、各利用児へのアセスメント後に支援計画書を作成し、保護者へ提供内容を詳しく説明しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	44					<ul style="list-style-type: none"> ・成功体験が出来る様に、しっかり支援していただいています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	43	1			<ul style="list-style-type: none"> ・運動のあと、先生に教えていただく授業形式以外はしたことがないので、分かりません。 ・自分で出来ない様な遊びをしてもらえて、助かっています。 ・目的が何であるかが、親側に分かるとありがたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下掲示板に、活動の目的、ねらい等を課題ごとに表示しています。また、活動終了時に上記説明を今後も実施していきます。
	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	2			<ul style="list-style-type: none"> ・分かり易く説明していただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約書記入時に詳しく説明をさせて頂いています。

10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	44					
11	保護者に対して家族支援プログラム（ハート・トーク等）が行われているか	42	2			<ul style="list-style-type: none"> ・通い始めて、そんなに長くない為、よく分からない。 ・父親も含めたものがあると良いなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングが必要な方、またはご希望される父母の方へは、詳しい説明と実施方法などをお話しし、資料等をお渡ししています。
12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	40	4			<ul style="list-style-type: none"> ・いつ伝えれば良いのか悩む時もある。運動中は人が多いと、中々伝え難い時もあるので。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接お話が出来ない方へは、相談カードを設置していますので、記入していただいています。また、年2回（誕生日月、6ヶ月後）の小児神経科Drの診察時に、子どもさんの現状と今後の必要な療育についての共通理解を場をつくっています。
13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・育児に対してのアドバイス、しっかり頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、小児神経科Dr講演の「子育て講座」にて子育てに関してのお悩み事に対して、アドバイスを行っています。

	14	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	41	3			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に対応していただいています。 ・申し入れをしたことがないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末の次年度に向けての個別面談にて、ご要望等の聞き取りを行っています。 ・相談カードを設置して、記入要望の体制も取っています。
	15	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	41	3				<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の「コアラだより」にて活動内容等のお知らせを行っています。 ・「らくらく連絡網」にて緊急のお知らせを一斉メール配信しています。 ・年1回自己評価アンケート結果をホームページにて公表しています。
	16	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	44					
非常時等の	17	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	37	7			<ul style="list-style-type: none"> ・私が把握していない為、分からない。 ・まだ訓練に参加したことがないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の火災避難訓練、年1回の水害避難・地震避難・防犯避難訓練を実施しています。（年間行事予定表に記載）各マニュアルは保護者控室にて閲覧出来る様にしています。

対応	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	5			<ul style="list-style-type: none"> ・参加した事がないので、分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コアラ園年間行事予定表に、実施日を記載しています。
満足度	19	子どもは通所を楽しみにしているか	42	2			<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、先生やお友達に会えることを楽しみにしています。 ・楽しくて帰りたくない、泣く事がある。 ・行った直後から「コアラ園に行きたい」と言うくらい楽しみにしています。 ・本人の気分次第。 ・今日は何曜日？コアラの日？と聞いてきてワクワクしているのが分かり、こちらも嬉しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コアラ園登園時は、不快ではなく快の気持ちで活動が出来る様に、活動内容を工夫し、その中で成長を促す取り組みを体験していただいています。
	20	事業所の支援に満足しているか	43	1			<ul style="list-style-type: none"> ・親子共々とても救われているなと思っています。いつもありがとうございます。 ・親子でガス抜きになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の成長を促す取り組みを、専門的な情報を収集して、スタッフ一同で試行錯誤しながら活動計画を組み立てています。また楽しく安全に活動が出来る様に、サービスの提供を常に心掛けています。

(注釈)

- 「本人に分かり易く構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人に分かり易くする事です。
- 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施される事が想定されています。
- 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶ事により、子どもが適切な行動を獲得する事を目標とします。

公表：2025年3月10日

事業所名：児童発達支援センター コアラ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	5	保護者等向け評価表などを活用しアンケート調査を実施して、保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後デイサービス計画を作成しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約前に利用児の情報シート作成を行い、ADLや特記事項、保護者の要望等を把握して支援計画を作成しています。 	

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	・AIセラピストCO-mii（文書作成ソフト）の活用をすすめる。	・AI文書作成ソフトより新しい活動メニューの内容を取り入れると伴に、利用児のニーズに合わせた支援内容を取り入れていきます。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
13	状況に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		・AIセラピストCO-mii（文書作成ソフト）の導入。	・AI文書作成ソフトよりの情報を得る事や、職員間のコミュニケーションを増やす事で、支援の内容が広がっていくと考えます。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合せて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・6ヶ月ごとのモニタリングにて利用児、保護者の要望等を把握して支援計画書に記載しています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7			・活動内容がマンネリ化しない様に、職員間の話し合いと、AI文書作成ソフトよりの活動メニュー内容を実施していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1	・基本的に医療的ケアが必要な方のご利用は行っていませんが、緊急に必要な場合は、隣接のゆうかり医療療育センターにてサポートしてもらっています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と総合理解に努めているか	7			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	・AIセラピストCO-mii（文書作成ソフト）の研修システムを利用していく。	・全国の医療療育センターで開催される講習会等に必要内容等があれば、積極的に研修を受ける様になっています。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所を利用されている方も多いため、出来ている方もいる。コアラとしても検討していく。 ・感染の観点から難しい状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用されている子どもさんは、ほとんどが放課後の学童クラスを利用されていて、地域の子供達との交流は行われていると思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターの情報を得て、対応出来る様に努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うきは市地域障害者協議会の児童部会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
保護者への説明責任等	29	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	33	個人情報に十分注意しているか	7			
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			

非常時等の対応

35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	・法人行事の開催を待つ。	・感染症対策の問題がなければ、法人全体で開催する運動会（久留米市東部運動公園にて）や、夏祭り行事（ゆかり学園敷地内にて）にて地域住民の方々との交流を図っています。
36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・現在避難訓練等を行っていない為、実施機会をつくって、日中の児童発達支援事業の活動で行っている避難訓練の流れを利用児に体験してもらいます。
38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			・活動時、やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合は、コアラ園身体拘束等の適正化のための指針に基づき、保護者へ説明を行い、必要書類に記載し実施していきます。
40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2025年 3月10日

＜放課後等デイサービス＞

事業所名：児童発達支援センター コアラ園

保護者等数（児童数） 8名

回収数 7

割合 90%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・安全に楽しく活動出来る環境をつくっています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・コアラ園での業務経験が5年以上の保育士6名、児童指導員1名が勤務しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7					
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアセスメントを行い、情報シートを作成し、要望等を取り入れた内容の支援計画書になっています。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援で使用した材料等を利用しての活動内容や、本児、保護者のご要望等を取り入れた活動内容を、スタッフ間で話し合いを行い実施しています。

保護者への説明等	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時にご要望等を聞き取りすると共に、利用者負担等について詳しく説明を行っています。
	7	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの成長の状況や課題について共通理解ができているか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎時に口頭にて活動内容をお知らせする事や、写真等にて活動状況を確認していただいています。
保護者への説明等	8	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7					
	9	個人情報に十分注意しているか	7					
非常時等の対応	10	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1				<ul style="list-style-type: none"> ・ 各マニュアルのプリントを利用保護者へお渡ししていきます。
	11	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	7					

満足度	12	子どもは通所を楽しみにしているか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・週1回～2回程の利用ですが、いつも楽しみにしています。 	
	13	事業所の支援に満足しているか	7					<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、生活スキルを身に付けてもらったり、コミュニケーションが活性化していると、通所後本人の反応を見て感じます。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく安全に活動が出来る様に、当日の利用児の状況を見ながら、よりよいサービスを常に心掛けて提供していきます。

事業所名

児童発達支援センター コアラ園

支援プログラム

作成日

R7

年

3

月

10日

法人（事業所）理念		「福祉の原点は心である、仕事はどれだけしたかより、どんな心でしたかが大切である」を基本理念とし、社会から信頼され、社会への経営責任を明確化し、社会へ貢献する。										
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位のサービスを提供する。 ・利用者様が楽しく快適で、安心してご利用出来る施設づくり。 ・地域福祉の推進。 										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、着脱などの基本的な生活習慣をスモールステップで獲得できるようサポートしていきます。（活動の中にも取り入れます） ・学齢期には、二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育む事で、課題を乗り越えられるようサポートします。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚特性に配慮し、安心して活動出来る環境を整えます。また、感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に把握できるよう、感覚遊びなどの課題を提供します。 ・粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚他姿勢保持を養う活動を行います。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します） 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解して行動に移す力を育てます。発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。必要に応じて意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します、また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の同伴通園で、療育に参加していただいております。毎年、「子育て講座」を開催しています。 ・ペアレントトレーニングの学習会や、希望者対象にグループワークでのペアレントトレーニングを実施しています。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント結果や個別支援計画書など、支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。就園予定の園との情報共有や就学に向けた説明会、学校見学案内などそれぞれの移行に向けた取り組みを行っています。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・同一法人内のゆかり医療療育センターリハビリ部（PT/OT/ST/心理担当者）と連携し、情報共有しています。 ・各関係機関（保育園・幼稚園・学校・相談員・他事業所・保健所等）との連携を図ります。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識の習得を目的に、各種研修会へ積極的に参加しています。 ・権利擁護関係の講習会に施設内（外部講師）外で受講しています。 ・基本理念に沿った利用者対応を常に心掛けています。 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の運動会や夏祭り行事へ、地域住民の方への参加案内を行っています。 ・クリスマス会・卒園を祝う会・節分・雛祭り・七夕など季節に合った活動を取り入れ、製作や課題活動などにも工夫をし提供しています。 ・生花教室、陶芸教室など、専門の先生より指導を受けて実施しています。 ・年1回、小児神経科Drによる「子育て講座」を開催しています。 										